

第21号

平成28年11月2日

富山県砺波農林振興センター
農業農村整備広報・広聴連絡会議
〒939-1386 砺波市幸町1番7号
電話(0763)32-8124【指導課】

となみ野水と里通信

(1面)

- ・ご挨拶
- ・となみ野田園空間博物館 創立10周年
- ・新「庄川合口用水会館」竣工式
- ・農地整備(土地総) 東般若地区 完工式

(2面)

- ・とやま帰農塾が開講「五箇山塾・砺波塾」
- ・「国民安全の日」のパトロール
- ・平成28年度の渇水について

ご挨拶

砺波農林振興センター次長

宮田 義人



東日本大震災から5年を迎えたこの春、熊本県を襲った2度の大地震により、震災の記憶を呼び覚まされた方も多かったと思います。

大地が崩れ、住宅が押しつぶされるとともに、農地はひび割れ、用水路はガタガタ、ため池にも亀裂が発生し、今年の作付けはあきらめざるを得ない状況となりました。また、本県では6月に砺波市井栗谷地内でおきた、人命救助に入ったため池での不幸な死亡事故を契機に、安全対策にも関心が集まっています。自然災害、特に地震災害は、前兆もなく突然襲ってくるため、これに備えることが難しい面があります。が、現時点で考えうる対応をとることが大切であり、また、土地改良施設での予期せぬ事故へも備えることが求められています。



となみ野田園空間博物館 創立10周年

水と緑の美しい砺波平野全体を博物館と捉え、県と砺波市、南砺市が散居村景観の保全や情報発信を行う推進協議会を設置し取り組んできた「となみ野田園空間博物館」が創立10周年を迎えました。そして、その記念式典が9月24日、砺波市チューリップ四季彩館で行われ、参加者約200名が散居村景観の保護・伝承に思いを新たにしました。

まずはじめに推進協議会長の夏野砺波市長が「砺波平野の散居景観を後世に伝えたい」とあいさつ。

となみ野散居村ミュージアムの川原館長が事業報告を行い、伍嶋県農林水産部長、米原県議会議員から祝辞をいただき、協議会副会長の田中南砺市長が閉会のあいさつを行いました。広田教授が「地域ブラン



(夏野 砺波市長 挨拶)

農地整備(土地総) 完工式

- ① 堤高10m以上
- ② 貯水量10万トン以上
- ③ 決壊した場合、人家に多大な影響が出る恐れ

富山県では、ため池に関してのあるため池を、「防災重点ため池」と位置づけ、重点的に耐震化などの防災対策を進めることとしています。また、人家から500m以内のため池等への安全対策を進めることとしています。

当センターでは、ため池の防災・安全対策について、関係市、土地改良区、地域の皆さんとともに、すでに一部とりかかっているところもあります。今後さらに積極的に取り組むこととしていますので、その際にはご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

新「庄川合口用水会館」 竣工式

去る9月28日(水)に新「庄川合口用水会館」の竣工式が開催され、夏野砺波市長はじめ多くのご来賓や、庄川沿岸用水土地改良区連合役員、北陸農政局庄川左岸農地防災事業所職員など関係者が一同に会して竣工を祝いました。

当日はあいにくの空模様ではありましたが、これも庄川水系に祀られておられる水神様達も祝いに来られていたからではないかと思えます。

新会館は、旧会館の老朽化や耐震の問題に伴い、現在整備を進めている国営庄川左岸農地防災事業(受益面積 約6,200ha)の中央管理所との共同事業により平成27年12月に着工されました。



(テープカット)



(庄川合口用水会館 全景)

施設は鉄骨造の2階建て、建築面積690㎡(延べ床面積1,260㎡)、1階には庄川沿岸用水土地改良区連合、庄西用水土地改良区、鷹栖口用水土地改良区が事務所を設け業務を行っています。2階には国営庄川左岸地区農地防災事業の中央管理所が設け

去る8月6日(土)に県営土地改良総合整備事業 東般若地区 完工式が砺波市東保地内の東般若農村振興会館で開催されました。式では砺波市土地改良区東般若地区委員会の吉田孝夫委員長が「農業にこそしむ暮らしを守り、豊かな自然を次世代に継承したい」とあいさつがあり完成を祝いました。本地区は昭和45年〜51年に一次整備(ほ場整備)され、その後40年以上が経過し、農業用排水路の老朽化や、耕土が薄いことによる汎用性の低さなどが、高度な農業経営の妨げとなっていました。そこで今回、平成21〜27年の



土地改良区連合 記

(庄川沿岸用水)

られており、排水管理システムが設置され、平成30年度より集中管理が行われる予定となっております。



7年間に東般若東部、西部地区の2地区で用排水路28.8km、客土10.9haの整備を行い、漏水解消や排水機能強化等を図り、たまねぎ、チューリップ球根等の高収益作物の栽培が可能となりました。今後、本事業により整備された施設が有効に活用され、効率的な営農と農業経営の安定化が進み地域振興と生活環境の向上につながることを期待されています。



とやま帰農塾が開講 「五箇山塾・砺波塾」

8月22日(月)より24日(水)に渡り、とやま帰農塾「五箇山塾」が、10月14日(金)より16日(日)にかけて「砺波塾」が開講されました。

とやま帰農塾は、都市と農山漁村の交流や、地域への定住・半定住を促進するため、県がグリーンツーリズムとやま(NPO法人)へ委託、実施しているものです。

五箇山塾には、東京都、大阪府等から20名の参加があり、南砺市の菅沼合掌の里に宿泊し、茅場の下草刈り・なぎ(焼き畑)作業等に汗を流し、桂湖でのカヌー体験、報恩講料理や五箇山民謡体験等の多彩なメニューが実施されました。

砺波塾には、愛知県や神奈川県他から9名の方の参加があり、砺波市の佐々木邸、夢の平コスモス荘に宿泊し、地域資源を使った文化体験講座を受講(体験)されました。

体験内容としては、今年、砺波市に移住された方を交えた交流会の他、大根、枝豆、サツマイモ、里芋などの収穫、また、砺波市特産のチ



(なぎ(焼き畑)の五箇山かぶらの播種作業)



ューリップの植込み、ソバ打ち体験、散居村展望、アズマダチ家屋見学のほか、二日目の昼食には、ぼたん鍋を作るなど、砺波塾ならではの多彩なメニューがあり、参加者の皆さんは、気分もお腹も満足されたことと思います。



(つるをはぐってのサツマイモの収穫)

「国民安全の日」の パトロール

毎年7月1日は「国民安全の日」と創設されており、この日に合わせ、砺波管内では砺波市内の2つのため池で一斉安全パトロールを行いました。

当日は点検マニュアルをカラー印刷し、参加者全員(砺波市・南砺



市の各土地改良区やため池管理者)に配布し、点検項目などを説明しながらパトロールを行いました。1箇所目は、平成22年度に県営事業で改修済みの「水上池」でした。2箇所目は「福山大ため池」です。

このため池はとても大きく、地元でも憩いの場所になっています。パトロールの参加者は高齢者も多く、移動途中のルート案内も、交通誘導員を配置し安全確保に努めました。日頃から施設を管理されている関係者の方々に感謝申し上げます。

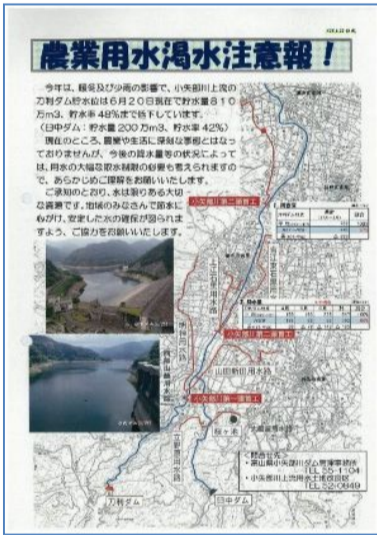
平成二十八年度の 渇水について

去る9月30日にコメの作柄の良し悪しを表す作況指数が発表されました。予想収量は過去最高だった去年を上回る見込みだそうです。北陸農政局が発表する作況指数で9月15日現在の富山県の作況指数は、5段階評価で1番上の「良」となったそうです。ちなみに富山県が「良」となるのは22年ぶりで、全国では新潟県(108)について2番目に高い水準(106)でした。

今年の6月まで遡ると、関東圏の利根川水系の渇水情報を初め、となみ地域では庄川の御母衣ダム、小矢部流域の刀利ダムの貯水量が渇水

状態であることが新聞で報道されてきました。6月以降、かんがい用水はどうなるのだろうかと非常に心配しました。過去を辿ると平成6年、8年、19年などが渇水年だったと記憶しています。近年では10年に1、2回は渇水に見舞われているといった感じでしょうか。

例年、かんがい期には「ため池の貯水量」や「各水系の渇水状況」など、月に3度の報告を関係者様より戴いています。これらの情報は蓄積され、また来年度以降の水利利用で、きつと役に立つことでしょう。



ため池管理者の ため池点検 マニュアル

●点検時の持ち物

- ヘルメット
- ため池点検表
- 筆記具
- カメラ
- 赤白ボール(あると便利)
- コンバックス
- 懐中電灯
- 携帯電話(あると便利)
- ラジオ(気象情報の収集用)

●日常管理に関する問合せ先

農林振興センター指導課	(電話)	市 町	課
市 町	課	市 町	課

●緊急時(防災)連絡先

農林振興センター指導課	(電話)	市 町	課
市 町	課	市 町	課

平成27年9月
富山県 農村整備課

イベント 開催案内



- ・11月5日(土)
となみ野田園空間博物館
10周年記念シンポジウム
 - ・11月30日(水)
県優良工事表彰式
 - ・12月9日(金)
砺波農林振興センター
優良工事表彰式
 - ・平成29年1月27日(金)～
29日(日)
富山県農村振興技術連盟
写真展
- (締切:11月30日(水)迄)

編集後記

近頃、めっきり寒くなりなり、山々も紅色へと里に降りてきています。皆様、体調の方はいかがでしょうか。

今年の秋は天候がさっぱりで、麦の播種、大豆の刈取り作業が捗らず、特に大豆は刈取りの遅れから例年に比べ減収とのこと。自然(異常気象)相手の農家の方も気苦労が絶えないところです。

さて、先日、岩魚の塩焼きをする機会がありました。岩魚(養殖)をタモですくい、はらわたを出して串に刺し形を整え、塩を振り炭火で焼き上げるといった体験をしてきました。

必死に逃げる岩魚を掴み、また、生命力の強い岩魚を見て、命あるものを食し、日々生かされていることに気付かされた一日となりました。感謝。(M記)

ブログやっています。
“とやま水土里探訪
ブログ”

<http://nntoyama2012.blog.fc2.com/>



とやま水土里探訪



☆砺波農林振興センター管内の
情報を

ホームページで発信中!!

[http://www.pref.toyama.jp/
branches/1633](http://www.pref.toyama.jp/branches/1633)

砺波農林



検索